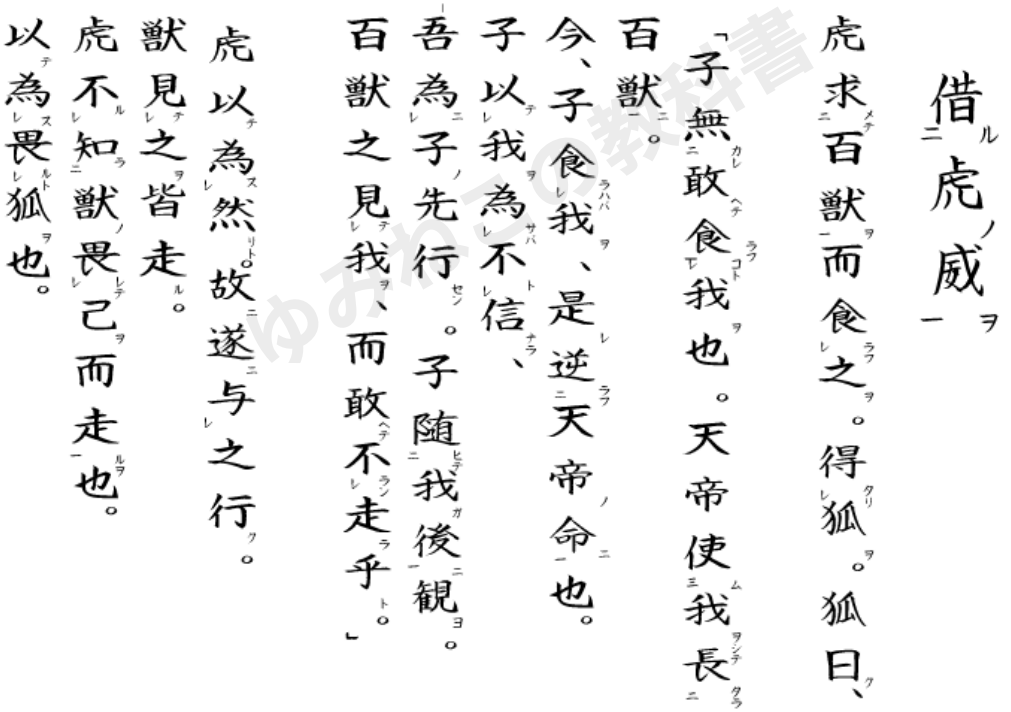
高校漢文「虎の威を借る狐」テスト対策練習問題と過去問まとめ

年	組	番	名前

次の漢文「借虎威」について、問いに答えなさい。



借虎威

虎求百獣而食之。得狐。狐曰、「子無敢食我也。天帝使我長百獣。今、子食我、是逆天帝命也。子以我為不信、吾為子先行。子随我後観。百獣之見我、而敢不走乎。」虎以為然。故遂与之行。獣見之皆走。虎不知獣畏己而走也。以為畏狐也。

問1　この話が収められている書物の名前を漢字で答えなさい。

問2　「百獣」の意味として最も適切なものを、次の中から一つ選び、〇で囲みなさい。

ア：百匹の獣
イ：あらゆる獣
ウ：強い獣
エ：虎に食べられた獣

© ゆみねこの教科書

問3　本文中の「走」の意味を、次の中から一つ選び、〇で囲みなさい。

ア：走る
イ：歩く
ウ：逃げる
エ：進む

問4　本文中の「子」の意味として最も適切なものを、次の中から一つ選び、〇で囲みなさい。

ア：子ども
イ：あなた
ウ：弟子
エ：狐

問5　「敢へて」の読みを、歴史的仮名遣いで答えなさい。

問6　「使む」の読みを、歴史的仮名遣いで答えなさい。

問7　「是れ」の読みを、歴史的仮名遣いで答えなさい。

問8　「為さば」の読みを、歴史的仮名遣いで答えなさい。

問9　「為に」の読みを、歴史的仮名遣いで答えなさい。

© ゆみねこの教科書

問10　「然り」の読みを、歴史的仮名遣いで答えなさい。

問11　「故に」の読みを、歴史的仮名遣いで答えなさい。

問12　「遂に」の読みを、歴史的仮名遣いで答えなさい。

問13　「与之行」の「与」の読みとして最も適切なものを、ひらがな1字で答えなさい。

問14　「畏れて」の読みを、歴史的仮名遣いで答えなさい。

問15　「観」の本文中での意味として最も適切なものを、次の中から一つ選び、〇で囲みなさい。

ア：ただ目に入る
イ：様子を注意して見る
ウ：会いに行く
エ：姿を見せる

問16　「見」の本文中での意味として最も適切なものを、次の中から一つ選び、〇で囲みなさい。

ア：見る
イ：見られる
ウ：会う
エ：現れる

© ゆみねこの教科書

問17　「子無敢食我也。」を書き下し文にしなさい。

問18　「子無敢食我也。」を現代語訳しなさい。

問19　「天帝使我長百獣。」を書き下し文にしなさい。

問20　「天帝使我長百獣。」を現代語訳しなさい。

問21　「今、子食我、是逆天帝命也。」の「今」は、ここではどのような意味で使われているか、次の中から一つ選び、〇で囲みなさい。

ア：今すぐ
イ：もし今～ならば
ウ：昔から
エ：いつか

問22　「今、子食我、是逆天帝命也。」を現代語訳しなさい。

問23　「子以我為不信。」を書き下し文にしなさい。

© ゆみねこの教科書

問24　「以A為B」の意味として最も適切なものを、次の中から一つ選び、〇で囲みなさい。

ア：AをBと思う
イ：AからBへ行く
ウ：AをBに与える
エ：AよりBを先にする

問25　「吾為子先行。」を現代語訳しなさい。

問26　「子随我後観。」を現代語訳しなさい。

問27　「百獣之見我、而敢不走乎。」を書き下し文にしなさい。

問28　「百獣之見我、而敢不走乎。」を現代語訳しなさい。

問29　「虎以為然。」の意味として最も適切なものを、次の中から一つ選び、〇で囲みなさい。

ア：虎は自然の中にいた。
イ：虎は狐を食べようとした。
ウ：虎はそれをもっともだと思った。
エ：虎は狐を恐れて逃げた。

© ゆみねこの教科書

問30　「以為へらく」の読みを、歴史的仮名遣いで答えなさい。

問31　本文中の置き字「而」について、説明として最も適切なものを次の中から一つ選び、〇で囲みなさい。

ア：必ず「しかり」と読む字
イ：漢文訓読では読まないことが多いが、前後をつなぐ字
ウ：必ず「や」と読む反語の字
エ：主語を表す字

問32　本文中の「也」の説明として最も適切なものを、次の中から一つ選び、〇で囲みなさい。

ア：断定を表し、「なり」と読むことがある。
イ：疑問を表し、「や」と読む。
ウ：否定を表し、「ず」と読む。
エ：使役を表し、「しむ」と読む。

問33　虎は、はじめ何をしようとして狐をつかまえたのか、簡単に答えなさい。

問34　狐は、自分を食べてはいけない理由として、どのようなことを虎に言ったか、簡単に答えなさい。

© ゆみねこの教科書

問35　「獣見之」とあるが、獣たちはどのような様子を見たのか。最も適切なものを次の中から一つ選び、〇で囲みなさい。

ア：狐が虎に追いかけられている様子
イ：狐の背後を虎が歩いている様子
ウ：王である狐が虎を従えて歩いている様子
エ：虎が狐に襲いかかろうとしている様子

問36　「獣見之皆走。」の「之」が指す内容として最も適切なものを、次の中から一つ選び、〇で囲みなさい。

ア：狐だけ
イ：虎だけ
ウ：狐の後ろに虎がついて歩いている様子
エ：百獣

問37　「皆走。」とあるが、獣たちはなぜ逃げていったのか、簡単に答えなさい。

問38　獣たちが逃げた本当の理由として、最も適切なものを次の中から一つ選び、〇で囲みなさい。

ア：狐が百獣の長だったから。
イ：狐が大声で命令したから。
ウ：狐の後ろにいる虎をおそれたから。
エ：天帝が獣たちに逃げるよう命じたから。

問39　動物たちが逃げていった理由を、虎はどのように考えたか。本文中から漢字5字で抜き出しなさい。返り点・送り仮名は不要。

© ゆみねこの教科書

問40　「虎不知獣畏己而走也。」の「己」は誰を指すか、本文中の漢字1字で答えなさい。

問41　狐の策略として最も適切なものを、次の中から一つ選び、〇で囲みなさい。

ア：虎を戦いで倒して、自分が強いことを示した。
イ：天帝の命令だと言い、さらに虎を後ろにつけて歩くことで、自分が恐れられているように見せた。
ウ：獣たちにあらかじめ逃げるよう頼んでおいた。
エ：自分が虎より速く走れることを示した。

問42　虎の様子として最も適切なものを、次の中から一つ選び、〇で囲みなさい。

ア：狐の策略を見抜いていた。
イ：獣たちが自分を恐れて逃げたことに気づかなかった。
ウ：天帝の命令を直接聞いていた。
エ：狐を百獣の長に任命した。

問43　「虎の威を借る狐」の故事で、狐が利用したものとして最も適切なものを一つ選び、〇で囲みなさい。

ア：天帝の姿
イ：自分の速さ
ウ：虎の力や勢い
エ：百獣の命令

© ゆみねこの教科書

問44　「虎の威を借る狐」ということわざの意味として最も適切なものを、次の中から一つ選び、〇で囲みなさい。

ア：物事を必要以上に大げさに考えること。
イ：強い者の力に頼って弱い者がいばること。
ウ：害や災いをもたらすものを野放しにしておくこと。
エ：人物の評価を名誉や功績によって判断すること。

問45　この話から生まれたことわざの意味を、自分の言葉で簡単に説明しなさい。

© ゆみねこの教科書

高校漢文「虎の威を借る狐」テスト対策練習問題と過去問まとめ（解答）

問1　戦国策

【解説】「虎の威を借る狐」のもとになった話は、中国の書物『戦国策』に収められているよ。

問2　イ

【解説】「百獣」は、文字通り「百匹」という意味ではなく、「あらゆる獣」「すべての獣」という意味で考えよう。

問3　ウ

【解説】漢文では「走」が「逃げる」という意味で使われることがあるよ。この本文でも、獣たちが逃げるという意味で使われているんだ。

問4　イ

【解説】「子」は、ここでは相手を指す言葉で、「あなた」という意味だよ。狐が虎に向かって呼びかけているんだ。

問5　あへて

【解説】「敢へて」は「あへて」と読むよ。ここでは「決して」という意味で使われているんだ。

問6　しむ

【解説】「使」は使役を表し、「しむ」と読むよ。本文では「天帝、我をして百獣に長たらしむ」と読み、「天帝が私を百獣の長にした」という意味になるんだ。

問7　これ

【解説】「是れ」は「これ」と読むよ。ここでは、「これは天帝の命令に逆らうことだ」という意味になるんだ。

© ゆみねこの教科書

問8　なさば

【解説】「子以我為不信」は、「子我を以て信ならずと為さば」と読むよ。「為さば」は、「以A為B」の句法の中で使われていて、「Bと思うならば」「Bとみなすならば」という意味になるんだ。

問9　ために

【解説】「吾子の為に先行せん」の「為」は「ため」と読むよ。「あなたのために」という意味なんだ。同じ「為」でも、文中で読み方が変わるので注意しよう。

問10　しかり

【解説】「然り」は「しかり」と読むよ。「その通りだ」「もっともだ」という意味なんだ。

問11　ゆゑに

【解説】「故に」は「ゆゑに」と読むよ。「そこで」「そのため」という意味になるんだ。

問12　つひに

【解説】「遂に」は「つひに」と読むよ。この本文では「とうとう」というより、狐の言葉を信じた虎が「そこでそのまま」狐と一緒に行った、という流れで考えると自然だよ。

問13　と

【解説】「故に遂に之と行く」と読むよ。「与」は、ここでは「～と」という意味で使われているんだ。

問14　おそれて

【解説】「畏る」は「おそる」と読み、「おそれる」という意味だよ。本文では、獣たちが虎をおそれて逃げたことを表しているんだ。

問15　イ

【解説】「観」は、ただ「見る」だけでなく、様子を注意して見るという意味で考えるとよいよ。狐は虎に「後ろからついてきて、よく見てください」と言っているんだ。

© ゆみねこの教科書

問16　ア
【解説】「百獣之見我」「獣見之皆走」の「見」は、どちらも「見る」という意味で使われているよ。

問17　子敢へて我を食らふこと無かれ。
【解説】「無敢～」は「敢へて～すること無かれ」と読み、「決して～してはいけない」という禁止の意味を表すよ。

問18　例：あなたは決して私を食べてはいけません。
【解説】狐が虎に対して、自分を食べてはいけないと命じるように言っている場面だよ。

問19　天帝、我をして百獣に長たらしむ。
【解説】「使AB」は「AをしてBせしむ」と読む使役の句形だよ。「我をして百獣に長たらしむ」で、「私を百獣の長にした」という意味になるんだ。

問20　例：天帝が私をあらゆる獣の長にしたのです。
【解説】狐が虎をだますために言った主張の中心となる文だよ。

問21　イ
【解説】ここでの「今」は、「もし今～ならば」という仮定の意味で使われているよ。

問22　例：もし今、あなたが私を食べるならば、これは天帝の命令に逆らうことになります。
【解説】「是れ」は「これ」、「也」は「なり」と読み、断定を表すよ。

問23　子我を以て信ならずと為さば。
【解説】「以A為B」は「Aを以てBと為す」と読み、「AをBと思う・みなす」という意味を表すよ。ここでは「私を信用できないと思うならば」という意味になるんだ。

問24　ア
【解説】「以A為B」は、「AをBと思う」「AをBとみなす」という意味になるよ。

© ゆみねこの教科書

問25　例：私はあなたのために先に歩きましょう。
【解説】ここでの「為」は「ため」と読み、「子の為に」で「あなたのために」という意味になるよ。

問26　例：あなたは私の後ろについてきて、その様子を見てください。
【解説】「随」は「したがふ」、「観」は様子を注意して見るという意味で考えよう。

問27　百獣の我を見て、敢へて走らざらんや。
【解説】「敢不～乎」は「敢へて～ざらんや」と読み、反語を表すよ。

問28　例：あらゆる獣が私を見て、どうして逃げないことがありましょうか、いや、必ず逃げます。
【解説】「どうして～しないことがあろうか、いや、必ず～する」という反語の形で訳そう。

問29　ウ
【解説】「然り」は「その通りだ」「もっともだ」という意味だよ。「虎以為然」は、虎が狐の言葉をもっともだと思ったという意味になるんだ。

問30　おもへらく
【解説】漢文の書き下し文では、基本的に歴史的仮名遣いで書くので、「以為へらく」は「おもへらく」と読むよ。「おもえらく」は現代仮名遣いに近い形だけれど、テストでは学校の授業やプリントの表記に合わせよう。

問31　イ
【解説】「而」は置き字として、漢文訓読では読まないことが多いよ。ただし、前後の語句をつなぐはたらきがあるんだ。

問32　ア
【解説】「也」は文末に置かれて、断定を表すことがあるよ。書き下し文では「なり」と読む場合があるんだ。

© ゆみねこの教科書

問33　例：狐を食べようとした。
【解説】本文の冒頭に「虎求百獣而食之。得狐。」とあるよ。虎は獣を探し求めて食べており、その中で狐をつかまえたんだ。

問34　例：天帝が自分を百獣の長にしたから、自分を食べると天帝の命令に逆らうことになると言った。
【解説】狐は、本当に百獣の長だったわけではなく、虎をだますためにこのように言ったんだ。

問35　イ
【解説】狐が先に歩き、虎がその後ろについて行ったため、獣たちは「狐の背後を虎が歩いている様子」を見たんだ。ウは、狐が本当に王だったという意味になってしまうので注意しよう。

問36　ウ
【解説】ここでの「之」は、単に狐だけを指すのではなく、狐の後ろに虎がついて歩いているその様子を指すと考えるとわかりやすいよ。獣たちはその様子を見て逃げたんだ。

問37　例：狐と一緒にいる虎のことを恐れたから。
【解説】獣たちは、狐そのものをおそれたのではなく、狐の後ろにいる虎をおそれて逃げたんだ。

問38　ウ
【解説】獣たちが本当におそれたのは狐ではなく虎だよ。この事実を押さえることが、本文理解の中心なんだ。

問39　以為畏狐也
【解説】虎は、獣たちが自分をおそれて逃げたことを知らず、狐をおそれて逃げたのだと思ったんだ。本文では「以為畏狐也」とあるよ。

問40　虎
【解説】「己」は自分自身のこと。ここでは、虎自身を指しているよ。獣たちは虎をおそれて逃げたんだ。

© ゆみねこの教科書

問41　イ

【解説】狐は虎と戦って勝ったのではないよ。言葉で虎をだまし、虎の力を利用して、自分が恐れられているように見せたんだ。

問42　イ

【解説】虎は、獣たちが自分を恐れて逃げたことに気づかず、狐を恐れて逃げたのだと勘違いしてしまったんだ。

問43　ウ

【解説】狐は自分自身の力で獣たちを逃げさせたわけではないよ。後ろにいる虎の力や勢いを利用したんだ。

問44　イ

【解説】「虎の威を借る狐」は、自分自身の力ではなく、強い者の権力や勢いを利用していばる人を表すことわざだよ。

問45　例：自分自身に力があるわけではないのに、強い人や権力のある人の力を利用していばること。

【解説】「強い者の力を利用すること」と「自分が偉いようにふるまうこと」の両方を入れて説明できるとよいよ。

© ゆみねこの教科書